



## 企業行動規範

企業は、人権の尊重、法令、国際ルールの遵守はもとより、高い倫理観を持った事業活動を通じて、社会の持続可能な発展（CSR・SDGs）に貢献することが求められています。本「企業行動規範」は、株式会社トーアエンジニアリングがその実現のために遵守すべき事項を定めたものです。

### 1. 法令の遵守

あらゆる企業活動の場において、法令を遵守し、社会倫理に適合した良識のある活動を行う。

### 2. 人権の尊重

各人の人権を尊重するとともに、民族・宗教・国籍・社会的身分・性別・年齢・障がいの有無などによる差別を排除する。

### 3. 環境への対応

低炭素社会、循環型社会に資する企業活動を行い、環境と経済が調和した持続可能な社会を構築し寄与する。

### 4. 従業員の就業環境整備

従業員の多様性・人格・個性を尊重し、公平な処遇を実現するとともに、それぞれの能力・活力を発揮するような安全で働きやすい職場環境をつくる。

### 5. 顧客からの信頼獲得

顧客の仕様を実現し、満足していただける製品サービスを提供する。  
顧客の声を真摯に受け止め、適正に対応することで信頼を獲得する。

### 6. 取引先との相互発展

公正なルールに則った取引関係を築き、円滑な意思疎通により取引先との信頼関係を確立し、相互の発展を図る。

### 7. 地域との共存

地域の健全な発展と快適で安全・安心な生活に資する活動に積極的に参加・協力し地域との共存を目指す。

### 8. 出資者・資金提供者の理解と支持

公正かつ透明性の高い企業経営により、出資者や事業資金の提供者の理解と支持を得る。

### 9. 政治・行政との健全な関係

政治・行政とは健全かつ透明な関係を維持し、公正な活動をする。

### 10. 反社会的勢力への対応

社会秩序や安全に脅威を与える反社会的勢力・団体に対して、毅然とした態度で対応し、一切の関係を遮断する。

### 11. 産業と技術革新の基盤をつくろう

ベンチャー企業としてのチャレンジ精神を忘れず、今まで蓄積してきた技術を DX によりイノベーションし、新しい価値のあるシステムを提案していきます。

令和4年6月1日  
株式会社トーアエンジニアリング  
代表取締役社長 時田 清次



## 企業行動規範（解説）

令和4年の行動規範の見直しはCSRとSDGsを取り入れます。

CSRとSDGsの違いは、CSRがいわば「社会をよくするためのボランティア」なのに対し、SDGsは「ビジネスを用いて社会をよくしよう」という考え方です。

CSR\_ ISO26000 (Corporate Social Responsibility) 企業の社会的責任として7つの中核主題があります。

1. 組織統治(ガバナンス)
2. 人権
3. 労働慣行
4. 環境
5. 公正な事業慣行
6. 消費者課題
7. コミュニティへの参画及びコミュニティの発展

SDGs（持続可能な開発目標、Sustainable Development Goals）とは、持続可能な世界を実現するため、2030年までに達成する国際的な開発目標のことを指します。

17のゴールと、169のターゲットから構成されています

1. 貧困をなくそう
2. 飢餓をゼロに
3. すべての人に健康と福祉を
4. 質の高い教育をみんなに
5. ジェンダー平等を実現しよう
6. 安全な水とトイレを世界中に
7. エネルギーをみんなに そしてクリーンに
8. 働きがいも経済成長も
9. 産業と技術革新の基盤をつくろう
10. 人や国の不平等をなくそう
11. 住み続けられるまちづくりを
12. つくる責任 つかう責任
13. 気候変動に具体的な対策を
14. 海の豊かさを守ろう
15. 陸の豊かさも守ろう
16. 平和と公正をすべての人に
17. パートナリシップで目標を達成しよう

SDGsとCSRの目標を会社としても行動規範に取り込み、ひとりひとり、みんなが考えて、行動することを目指します。



## 1. 法令の遵守

法令遵守は企業が事業活動を行うにあたっての前提であるとともに、企業が最低限守るべき「義務」でもあります。

法令遵守を実施するため委員会を発足させ活動します。

- ① ISMS 委員会：情報セキュリティマネジメントシステム（ISO27001）規定を作成し教育・監査を実施することにより情報資産、個人情報の保護を行います。
- ② 社内監査会議：予算通り経理処理、総務業務が実施されているか監査をし、定期的に監査手順書による監査を実施し適切に運用している事を確認します。
- ③ コンプライアンス委員会：法令に反する行為やハラスメントを含む人権を侵害する行為などの早期発見と問題解決のためには、内部通報窓口の設置が必要です。  
窓口は [soumu@toa-engineering.co.jp](mailto:soumu@toa-engineering.co.jp) です。  
ハラスメント等法令違反があった場合、相談窓口より顧問弁護士と委員を招集し会議を実施します。

## 2. 人権の尊重

人権は、すべての人に与えられた基本的権利であり、普遍的かつ不可分な権利です。企業活動に関する社内外の人々の人権を尊重し、直接的な人権侵害のみならず、間接的な影響にも配慮した行動が求められています。

女性活躍推進法の基づき行動計画を作成しジェンダー平等の促進を図ります。

## 3. 環境への対応

環境対策としては、省エネルギー・省資源や3R（Reduce, Reuse, Recycle）による廃棄物の削減が必要です。

トアエンジニアリングが得意とする省エネルギー・省資源技術で社会に貢献することと、企業生活において3Rを実施することでごみ削減、温室効果ガス排出ゼロの「循環型社会形成」により住み続けられる街づくりを行います。

DXを推進し業務の効率化によるペーパーレス、クリーンエネルギーを実現します。

## 4. 従業員の就業環境整備

働きがいがあり経済成長するために従業員の多様性・人格・個性を尊重し、OMY\_PJによりコミュニケーションの機会を設けて、中堅社員の声を聞きます。

また3年に1度「意識調査票」を実施し社員の声を経営に反映します。

安全衛生委員会による、安全衛生及び安全活動により働きやすい環境を作ります。

健康診断、ストレスチェック、残業時間による産業面談など従業員の健康状態が健全であることを常に確認できるようにします。

## 5. 顧客からの信頼獲得

つくる責任 つかう責任より、「品質保証方針」に従いよりよい製品を社会に提供します。

ISO 9001 品質マネジメントに従いPDCAサイクルより高い品質のシステムを提供し社会貢献します。

顧客を満足させることが信頼の基本です。クレームがあった場合、誠意を持って早急に対応します。



## 6. 取引先との相互発展

取引先とは自由で**公正な取引ルール**を尊重して、契約等に従った誠実な取引を行い、円満な取引関係を築くことが必要です。

取引先とは、基本契約、注文書・注文請書、発注承認申請書、で正しい手続きをしています。

プロセス計装制御技術協会に加入し、同業種との情報交換をする事により、取引先との相互発展をしています。

## 7. 地域との共存

地域社会と共存するため、法人会、商工会議所、ロータリークラブに入会し、コミュニティへの参画及びコミュニティの発展に寄与します。

(社)日本キリスト教海外医療協力会、公益法人ロータリー財団に寄付することにより貧困・飢餓・健康と福祉・水と衛生・教育に寄与します。

## 8. 出資者・資金提供者の理解と支持

必要な事業資金を必要なタイミングで確保できることが、健全な企業経営を行う上では不可欠です。円滑な資金調達を図るためにも、出資者や金融機関等の資金の借入先に対して、自社の事業活動に対する理解を得ることで信頼関係を築くよう努めなければいけません。良好な信頼関係を作るには、公正で透明性の高い経営を行うことが大切です。

決算が終わり次第、金融機関に対して事業報告書の説明を行います。

また、適正な会計処理を行い、財務・税務会計の正確性や信頼性を確保することが第一です。会計処理については月次業績、作業管理で毎月財務の正確性を監査会議にて検証します。

## 9. 政治・行政との健全な関係

贈賄や違法な利益供与などの不正な行為を排除し、政治資金規制法、公職選挙法を遵守しなければいけません。

行政との関係で、国家公務員倫理法等の理解を深め、その遵守に協力します。

## 10. 反社会的勢力への対応

総会屋、暴力団などの反社会的勢力や団体に対しては「おそれない」「金を出さない」「利用しない」「交際しない」の原則を徹底し、あらゆる関係を断つことが不可欠です。組織統治(ガバナンス)により企業トップは危機管理が自らの役割と認識し対応します。

## 11. 産業と技術革新の基盤をつくろう

ベンチャー企業としてのチャレンジ精神を忘れず、今まで蓄積してきた技術をDXによりイノベーションし、新しい価値のあるシステムを提案していきます。